

第6回 生物多様性シンポジウム

越後平野の 水辺の未来を描く



白鳥渡来地で有名な阿賀野市の瓢湖が、昨年、佐潟に続いて越後平野2番目のラムサール条約登録湿地となりました。瓢湖では、鳥インフルエンザへの警戒感などから、水鳥への餌付け規制の論議がおきています。村上市の御幕場大池では、来訪者による餌やりが放任されており、水質汚濁が極度に進行し、希少なトンボが絶滅するなどの問題がおきています。

新潟県内には、福島潟や鳥屋野潟、上越地域の朝日池など、ラムサール登録基準を満たしながらも、条約の「ワイズユース」の精神が浸透せず、足踏み状態となっている湖沼もあります。

本シンポジウムでは、県内各地の湖沼の事例を検証しながら、改めてラムサール条約の「ワイズユース」と「水辺環境の保全」について考えます。また、湖沼や河川、水田地帯を含めた越後平野全域の、ラムサール条約登録の可能性についても検討したいと思います。

- ◆ 期 日 2009年3月15日(日)
- ◆ 会 場 新潟市 豊栄ふれあいセンター
新潟市北区東栄町1丁目1-18 電話: 025-387-5965
- ◆ 日 程 9:30～ 受付・お昼の弁当注文受付(700円)・資料代500円
10:00～ 開会の挨拶 石月 升(NPO新潟水辺の会副代表)
祝辞: 新潟市長 篠田 昭氏



- 10:20～ 基調講演
・本田清氏(日本白鳥の会創立会員)
**白鳥から見た
越後平野の現状と将来展望**
・金子与止男氏(岩手県立大学総合政策学部教授)
湿地の保全と持続可能な利用

- 12:40～ 昼食休憩 エクスカーション: 福島潟 潟舟体験
- 14:00～ パネルディスカッション
・大熊 孝 氏(NPO新潟水辺の会代表): コーディネーター
・本田 清 氏(講師・アドバイザー)
・金子与止男氏(講師・アドバイザー)
・佐藤 安男 氏(佐潟水鳥・湿地センター)
・佐藤 巖 氏(瓢湖の白鳥を守る会)
・福井 宣明 氏(NPOねっとわーく福島潟)
・藤田 正 氏(自然豊かな鳥屋野潟とまちづくりをすすめる会)

- 16:30 閉会の挨拶 諸橋潔(生物多様性保全ネットワーク新潟代表)
- 17:00～ 交流会 大倉屋(会費 4,000円) 025-387-2017 ...シンポジウム会場から徒歩約5分

- ◆ 主 催 生物多様性保全ネットワーク新潟・NPO法人 ねっとわーく福島潟・NPO法人 新潟水辺の会

- ◆ 共 催 瓢湖の白鳥を守る会・鳥屋野潟21世紀の会・自然豊かな鳥屋野潟とまちづくりをすすめる会・佐潟環境ネットワーク
佐潟と歩む赤塚の会・新潟県自然・環境保全連絡協議会・にいがた市民環境会議

- ◆ 後 援 環境省関東地方環境事務所・新潟県・新潟市・豊栄土地改良区・(財)こしじ水と緑の会
ラムサールセンター・(財)日本野鳥の会・日本白鳥の会・(財)日本自然保護協会



白鳥写真はいずれも
本田清氏著「白鳥の湖」から

連絡 問い合わせ 生物多様性保全ネットワーク新潟事務局 ・Tel. 025-270-2010 Fax. 025-270-2011
・Mail. Naturewk@basil.ocn.ne.jp URL. <http://www.geocities.jp/biodiversitynetniigata/>

この催しの運営費の一部に、(財)河川環境管理財団河川整備基金からの助成金を充当しています